

Kofu
Josai

山梨県初の総合学科高校、夢をかなえる8系列

好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君

一緒に学んでみませんか？

私たちのこと、知ってほしくて作りました。

甲府城西高校の広報誌「KJ」です。

第7号

甲府城西高校通信

今年もお世話になりました。甲府城西KJ通信です。



特集 授業紹介

特集 授業紹介

G選択[火曜5・6時限]の授業をクローズアップ

サッカー部日韓交流

KJ通信アンケート

G選択授業を一挙公開!

工芸

「工芸」の授業では、陶芸で茶碗を作るだけだと、当初私は思っていました。しかし、実際に授業を受けてみると、予想と違い、前期は金属加工を行いました。金属加工では様々な金属を切ったり、曲げたり、磨く作業をしてオリジナルスプーンやキーホルダーを製作しました。これらの作品を作るには、自由な想像力が必要で、とてもダイナミックな作業です。現在、後期の授業では陶芸を行っています。陶芸ではコップやお皿を一から手作業で作ります。陶芸の一番の魅力は、やはり、ろくろを使った茶碗作りだと思いますが、この作業はとても難しいです。しかし、めったにできない体験ですし、とても充実感があります。もし「私も陶芸をやりたい」と思った人は、ぜひこの授業を取ってください。

(有賀 詳平)

トレーニング理論

私は3年生になってから、「トレーニング理論」の授業を取りました。私は情報管理系列に所属していますが、トレーニングに興味があったので、スポーツ健康系列のこの科目を選んでよかったと思っています。授業の内容は、主にウエイトルームを使つてのトレーニングですが、筋肉の仕組みや名称・動きも勉強します。トレーニングは、個人でやりたい種目を選んで行っているのですが、それぞれが目標を持って取り組めます。また、やればやっただけ身体が強くなるのを実感でき、自分の体の変化も楽しめるので、やり甲斐があります。これからもトレーニングを継続して行い、生活に活かしていきたいと思っています。

(永井 彰法)

フランス語

僕の目標はパティシエになることです。高校卒業後は専門学校に行き、フランスへ留学することを考えています。そのため、将来役立つと思い、フランス語を選択しました。授業では、日常のあいさつや自己紹介、普段よく使う文などを学んでいます。時々日本語が通じず苦労しましたが、フランス人のヤン先生が指導して下さるので、本物のフランス語に触れることができ、とても勉強になりました。今すぐにフランスへ行って会話をするというのはかなり難しいですが、基本的なことはこの一年間で学ぶことができたと思います。来年からは、専門学校で本格的にフランス語を学びますが、その準備としてとても役に立つ授業でした。

(小林 洋明)



服飾手芸

私が「服飾手芸」の授業を選択した理由は、被服や調理など家庭科系の授業が大好きで、特に刺繍の授業に魅力を感じたからです。今、この授業では、刺繍に取り組んでいます。自分で柄を決め、それを一つの作品として仕上げるようになっていきます。柄がきれいに見えるようにたくさん人のステッチを組み合わせるのがとても大変ですが、自分の思い描く作品を作ることができるのは、とても楽しいです。周りの人の作品を見ても、個性が出ていて、それぞれがよい作品に仕上がっていると思います。刺繍が終わったら、編み物に取り組むので、今からとても楽しみです。

(東田 悠乃)



書道

私は一年次、二年次と継続して、芸術の授業で「書道」を選択しています。高校入学時に何もわからないまま、なんとなく「書道」を選択しました。しかし、何度も何度も書いて先生にアドバイスをいただくうちに、上達していくことの素晴らしさを知りました。書道は、心を落ち着かせ、美しくしてくれます。そして、その心が書に表れるのだと思います。普段やらないことだからこ集中でき、上達していくことがわかるのが、うれしいです。書道だけでなく、他の事柄でも上を目指そうという気持ちにさせてくれる授業だと、二年間受けて思いました。もちろん三年次でも「書道Ⅲ」の授業を選択します。一年次、二年次のときよりも、もっと上達できるように頑張りたいと思います。

(小田切 まどか)

生活教養

私が「生活教養」を選択した理由は、将来、社会人として豊かな社会生活を送っていくためのマナーや言葉遣い、儀式での作法などの一般教養を身につけたいと思ったからです。授業の中では、手紙の書き方や、和室の出入りの仕方など日常生活でエチケットを学びました。意外と知らなかった食事のマナーは大変勉強になりました。また、難しいと思っていたレストランで見かけるバラの花の形のナプキンを、自分で作ることができた時は、とても達成感がありました。これから学習する、冠婚・葬祭に出席するときのマナーも大変役に立ちそうです。どれも、ずっと必要とされる知識ばかりですので、今後の生活や仕事に活かし、立派な社会人に成長したいと思っています。

(田本 真子)



宝石学概論

「宝石学概論」の授業では、貴金属加工の方法や、宝石の種類や歴史など、ジュエリーに関する基礎的な知識を学習しています。画用紙で作ったプレスレットとリングに好きな模様や絵を描いてデザインを勉強したり、ワックスという「ろくろ」でできたものを使って型を作り、シルバーのリングの製作をしてきました。現在はペンダントトップの製作をしています。デザインから自分で考えて製作するので、自分の考えたデザインが形になっていくのがとても楽しいです。そのほかに、県立博物館や宝石美術専門学校の見学など、校外学習もしてきました。先日は河口湖にある宝石博物館を見学しました。希少価値がある宝石は、普段はなかなか見ることができないので、とても貴重な経験になりました。このような体験ができる「宝石学概論」は、宝飾産業が盛んな山梨だからこそできる授業だと思いますし、私にとって、地元の産業に触れる良い機会となっています。

(小林 千賀子)





私はこの夏休みに、部活動の一環で日韓姉妹都市交流サッカー大会に参加した。互いの国に一週間ほど滞在し、サッカーの練習や試合などを行うイベントである。初めのうちは、サッカーの実力や互いの国の文化、言葉の違いなどから、コミュニケーションをとることが難しく、普段どおりにプレーできないことがあった。しかし、シエスタチャーターによるコミュニケーションや、世界共通のスポーツ文化であるサッカーを共にプレーすることにより、少しずつ相手の気持ちを理解することができるようになって、チームとして一つにまとめることができた。

サッカー日韓交流



私は、この交流を通してたくさんの人々と関わる機会に恵まれた。この経験は私の視野を広げ、団結力、判断力、責任感などを身につけさせてくれた。これらは集団行動に不可欠なものであり、私これから大学や社会に出てからも必ず役立つものであると考える。韓国の友人チエックとはこれから長い付き合いをしていきたいと思っている。
(竹内大樹)



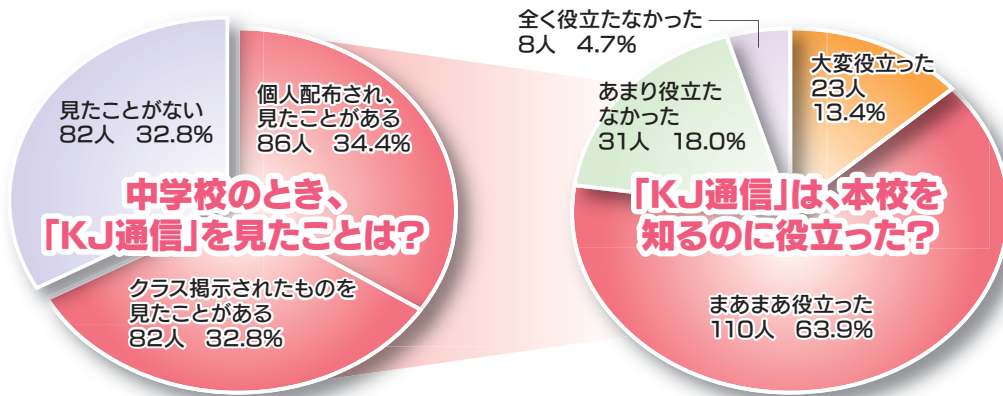
「KJ通信」読まれています

1年次生へのアンケートより



「KJ通信」は本校の広報誌として平成十九年七月に創刊され、今年、発行三年目を迎えました。地域の方や中学生など、多くの方々に私たちのことを知ってほしいとつくりました。

「KJ通信」はどのくらい認知されているのだろうか？また、中学生の進路選択に役立っているのだろうか？これを検証するために、最も中学生に近い本校一年次生を対象にアンケートをとりました。結果は図表のとおりです。多くの生徒が本校を知るのに「KJ通信」を役立てていてくれたことがわかり、うれしく思いました。表紙をはじめ、いろいろな写真は印象に残ったという結果が得られましたので、今後も視覚に訴える広報に努めたいと思います。また、「中学生に対して今後取り上げるとよい内容は？」という項目では、授業・系列紹介、部活動紹介等の回答が多かったので、印象に残った内容の結果からも、生徒の日常の様子が伝わるような紙面づくりを心がけていくつもりです。



印象に残った内容

ベスト1	表紙の校舎の写真
ベスト2	部活動紹介
ベスト3	卒業生の声
	授業紹介
	進路実績
	各種写真

information

- 1月26日(火)、27日(水)
前期入試が行われます。試験内容は個別面接・作文・個性表現です。詳細は、本校Webサイトをご覧ください。
- 3月4日(木)
後期入試が行われます。受験生のみなさん、インフルエンザ対策をしっかり行い、頑張ってください。
- 表紙の写真は、県立中央病院屋上から撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

KJ通信

発行 山梨県立甲府城西高等学校
山梨県甲府市下飯田一丁目9-1 〒400-0064
TEL 055-223-3101 FAX 055-223-3103
URL: <http://www.josaih.kai.ed.jp/>
Mail: josaih@kai.ed.jp

発行日 平成21年12月20日

編集 甲府城西高等学校広報活動委員会 We love Josai.

